

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管

管理医療機器 非中心循環系塞栓除去用カテーテル（JMDNコード：10714002）

血栓除去カテーテル

再使用禁止

【警告】*

適用対象（患者）

- ・本品は天然ゴムを使用している。天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー症状をまれに起こすことがある。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、適切な措置を施すこと。[重篤なアレルギーを起こす恐れがある為]

使用方法

- ・空気やガスでバルーンを膨張させないこと。[空気塞栓の恐れがある為]
- ・バルーンの膨張容量は、推奨最大容量を超えないこと。[バルーンの破裂、カテーテルの破損、血管損傷の恐れがある為]
- ・血管内でのカテーテルの操作は慎重に行い、操作中に抵抗を感じた場合は、操作を中断し、過度な力を加えずにバルーンを収縮させた状態でカテーテルの前進／引き抜きを行うこと。[バルーンの破裂、カテーテルの破損、血管損傷の恐れがある為]

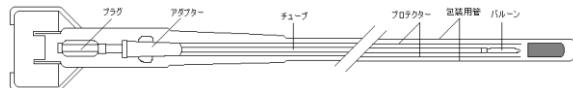
【禁忌・禁止】*

使用方法

- ・再使用禁止、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】*

本品はポリエチレン製のチューブに天然ゴムラテックスのバルーンを取り付けた血栓除去カテーテルである。



シャフト径 (Fr)	2	3	4	5
最大容量 (mL)	0.05	0.20	0.75	1.50
バルーン径 (mm)	4.5	8.0	10.5	13.0

シャフト径(Fr)	6	7
最大容量 (mL)	1.60	1.75
バルーン径 (mm)	13.5	14.0

【使用目的又は効果】*

血管内で凝固した血液の固まりを除去する。

【使用方法等】*

1. 本品の包装に異常が無いことを確認した後、本品を無菌的に取り出す。
2. シリンジを使用してバルーンの漏れが無いことを確認する。
3. 収縮した状態の本品を血管内に挿入し、スタイルットを使いながら本品を血管に挿入し、血栓部位の先まで進める。
4. スタイレットを外しアダプターに適正容量の滅菌生理食塩水液を含むシリンジを取り付ける。
5. シリンジ内を真空にしてチューブ内の空気を除去し、滅菌生理食塩水を注入してバルーン部を膨張させ、血管壁に接した段階で膨張を中止する。この時バルーンの最大容量を超えないように注意する。
6. バルーンを膨張させた状態で本品を抜去して血栓を除去する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・空気の侵入を避けるため、シリンジおよびハブが、しっかりと接続されているか確認すること。
- ・損傷を避けるため、バルーンは器具等で掴まないこと。

- ・粘性・粒子性の高い造影剤をバルーン膨張用として使用しないこと。
- ・バルーン拡張時、ロック付きシリンジ（本品に含まれない）を使用すること。

【使用上の注意】*

<重要な基本的注意>

- ・形状変化・劣化等の恐れがある為、有機溶媒に接触させないこと。

<不具合・有害事象>

本品の使用に伴い、以下の不具合又は有害事象の可能性があるが、これらに限定されるものではない。

1) 重大な不具合

- ・カテーテルの破損（折れ、曲り、延伸、破断）
- ・バルーンの拡張・収縮不良
- ・バルーンの破裂
- ・カテーテルやバルーンの分離・抜去困難
- ・カテーテルのキンク

2) 重大な有害事象

- ・局所感染または全身感染症
- ・局所的血腫
- ・内膜損傷
- ・動脈解離
- ・血管穿孔又は血管破裂
- ・出血
- ・動脈血栓
- ・血栓や動脈硬化性plaquesによる遠位部塞栓
- ・空気塞栓
- ・動脈瘤
- ・動脈攣縮
- ・動静脈瘻の形成
- ・カテーテル先端チップ離脱による遠位部塞栓
- ・腎不全
- ・対麻痺

【保管方法及び有効期間等】*

1. 保管方法

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて常温で保管すること。

2. 有効期間

包装の「使用期限」を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*



製造販売業者

レメイト・バスキュラー合同会社

〒102-0074

東京都千代田区九段南2-9-4 久保寺ツインタワービル1階

問い合わせ窓口／電話番号：03-5215-5681

FAX番号：03-5215-5682

製造業者

海外製造所及びその所在地の国名：LeMaitre Vascular, Inc. (USA)

レメイト・バスキュラー・インク（米国）